

2020年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月3日

上場会社名 J-ピープル
 コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐淵 真人
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子
 定時株主総会開催予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 2020年4月15日
 有価証券報告書提出予定日 2020年4月15日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年1月期の連結業績(2019年1月21日～2020年1月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期	3,748	△9.6	293	△32.4	286	△32.1	222	△22.0
2019年1月期	4,146	△2.8	433	△9.0	422	△8.7	285	△7.1

(注) 包括利益 2020年1月期 226百万円 (△24.1%) 2019年1月期 298百万円 (△4.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年1月期	50.84	—	10.8	11.7	7.8
2019年1月期	65.21	—	13.8	17.2	10.4

(参考) 持分法投資損益 2020年1月期 一百万円 2019年1月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年1月期	2,441	2,046	83.8	467.78
2019年1月期	2,451	2,078	84.8	475.01

(参考) 自己資本 2020年1月期 2,046百万円 2019年1月期 2,078百万円

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2020年1月期の期首から適用しており、2019年1月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年1月期	227	△110	△271	1,395
2019年1月期	365	△56	△284	1,550

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年1月期	—	0.00	—	62.00	62.00	271	95.1	13.1
2020年1月期	—	0.00	—	—	—	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2020年1月期の期末配当額につきましては、1株当たり32.60円～38円にて予想開示をしております。最終決定につきましては2020年3月11日開催予定の決算取締役会議における決議に基づき、改めて決議後発表いたします。

2. 2021年1月期第2四半期末配当の有無につきましては7月中旬に、また、2021年1月期期末配当につきましては、通期連結業績見通しと連動し、年末商戦状況を見極めた上で動向し、発表させていただきます。

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年1月21日～2020年4月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	770	0.0	34	△2.1	34	△0.7	22	△0.9	4.96

(注)当社の通期連結業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。本来通期業績予想を掲げるべきであります。このような玩具市場の特性に鑑み、直近で見通せる次期四半期の予想を掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年1月期	4,437,500 株	2019年1月期	4,437,500 株
2020年1月期	63,279 株	2019年1月期	63,253 株
2020年1月期	4,374,240 株	2019年1月期	4,374,248 株

(参考)個別業績の概要

2020年1月期の個別業績(2019年1月21日～2020年1月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期	3,729	△9.9	307	△29.4	284	△33.0	220	△23.6
2019年1月期	4,139	△2.9	436	△14.2	424	△14.3	288	△3.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期	50.35	—
2019年1月期	65.86	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年1月期	2,444	2,050	2,050	2,083	83.9	468.72	468.72	
2019年1月期	2,456	2,083	2,083	2,083	84.3	476.20	476.20	

(参考) 自己資本 2020年1月期 2,050百万円 2019年1月期 2,083百万円

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2020年1月期の期首から適用しており、2019年1月期の個別財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「経営成績 1.経営成績に関する分析 (2)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
①当期の経営成績	2
(業績全般の概況)	2
(カテゴリー別の概況)	2
(当期国内新発売・リニューアル商品)	3
②当期の財政状態の概況	4
(資産負債及び純資産の概況)	4
(たな卸資産の状)	4
(設備投資の状況)	4
③当期のキャッシュ・フローの概況	4
④今後の見通し	5
⑤利益配分に関する基本方針及び当期の配当について	5
(利益配分に関する基本方針)	5
(当期2020年1月期の期末配当について)	5
(次期の配当について)	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況
 (1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績
 (業績全般の概況)

	当連結会計年度	
	金額	前期比
売上高	3,748百万円	9.6%減
営業利益	293百万円	32.4%減
経常利益	286百万円	32.1%減
親会社株主に帰属する 当期純利益	222百万円	22.0%減

当連結会計年度における経済環境は、国内では緩やかな回復傾向が伝えられるなか、海外経済の減速等を背景に外需が弱いことや、国内では消費税上げ後の個人消費についても先行きは不透明な状況が続きました。

玩具市場においても、ここ数年來の消費者ニーズの変化が、当期の年末年始商戦の厳しさからより一層顕著となりました。各企業これまでのビジネスモデルの踏襲では拡大・成長は一定水準に留まるとの観測も多く、再検討を要する段階にきたことを実感しました。このような環境のもと、当社グループは業績低迷からの脱却に向け、当期、経営新体制で社内改革の第一歩を踏み出しました。従来の企業理念の基本は継続しつつ、将来の企業成長を実現させ企業としての投資価値を高めていくための課題の整理に入りました。

その一つとして、設立以来業績低迷が続く米国の連結子会社は当年度をもって解散し、欧米での当社ブランドの拡販手法を再構築することとしました。国内においても、販売促進活動の見直しを図り、流通や消費者の声をより一層吸収していく等の新たな取組みを開始しました。

当期は上記のような体制の見直しに着手しましたが、国内販売売上高は、玩具市場全般における不振の影響を受け低調な推移となりました。純玩具の分野においては、厳しい年末商戦の煽りを受けた一方、自転車および屋内遊具の分野で当社商品が消費者に選ばれ、予想を上回る売上をあげました。海外販売では、中国向け玩具販売は好調な伸びを見せましたが、米国向け商品「Magna-Tiles」の生産国を、下期において一部中国から中国外へ移転したことでの一時的な供給量減少や、他社品とのシェア競争等が海外販売売上高減少の要因となりました。この結果、当連結会計年度売上高は37億48百万円の前期比9.6%減となりました。

利益につきましては、販売費および一般管理費はおおむね前期並みの費用発生となった結果、営業利益は2億93百万円（前期比32.4%減）、経常利益は2億86百万円（前期比32.1%減）となりました。また、主に税効果会計において連結子会社解散決定に伴う法人税等調整額計上後の、親会社株主に帰属する当期純利益は、2億22百万円（前期比22.0%減）となりました。カテゴリー別の状況は、次のとおりです。

(カテゴリー別の概況)

◆ 乳児・知育玩具

乳児・知育玩具カテゴリーにつきましては、「知脳リモコン」(1,700円)や、「PIKAO-ピカオ-」(3,500円)・「スマート知育ジムウォーカー」(5,800円)など、最新の育児環境調査により生まれた子育て世代のニーズにフィットする新製品が、SNSを中心としたキャンペーン効果で好調に推移し、売上に貢献しました。一方で、既存の「ピタゴラス」等は、玩具市場の年末商戦苦戦の影響を受けました。

◆ 女兒玩具

女兒玩具カテゴリーでは、市場では低単価のサプライズトイなどが話題となりましたが、全体では年末商戦も盛り上がりに欠けた様子となりました。当社のお人形「ぼぼちゃん」シリーズも低迷が続く、当期も苦戦しました。そのような中でもロングセラーの人形では表情部分のデザイン変更を行い、女兒ホビーではDIY遊び「ねじハピ」シリーズの新商品を発売する等、活性化を図りました。

◆ 遊具・乗り物

遊具・乗り物カテゴリーでは、屋内遊具の長年定番の「白いわんぱくジム」(19,800円)が、当期パッケージのデザイン変更が功を奏し、大手量販店に再拡販となり当カテゴリーの売上増に寄与しました。また、新製品では「頭と体の知育ボールサーカス」(8,400円)が好調に推移しました。

自転車では、「ケッターサイクル」(各種・オープン価格)が人気で、流通でも期待のかかる商品となりました。

◆ その他、家具・育児他

SNSでお母さま方に人気のチェア「テディハグシリーズ」に、当期は新たに「テディハグ ママスイング+」(オープン価格)と、抱っこひも「Bebe Pocket Plus」(4,000円)を発売しました。

◆ 海外販売

海外販売では、中国販売ではまだ市場の拡がりは緩やかですが、当期は「やりたい放題」シリーズをはじめとして好調な売れ行きを見せました。一方、主要となる「Magna-Tiles」の米国販売市場においては、安価な競合品が多数出現し、シェアの奪い合いが激化したことで当期は売上高減少に転じました。

(カテゴリー別連結売上高の前期対比)

(単位：千円)

	2019年1月期 (自2018年1月21日 至2019年1月20日)	2020年1月期 (自2019年1月21日 至2020年1月20日)	前期比 (%)
乳児・知育玩具	1,362,242	1,285,130	94.3
女兒玩具	467,541	385,432	82.4
遊具・乗り物	478,837	550,546	115.0
その他(家具・育児他)	126,449	117,101	92.6
海外販売	1,710,996	1,409,323	82.4
合計	4,146,065	3,747,531	90.4

(当期国内新発売・リニューアル商品)

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (消費税別)	
乳児・知育玩具	ピタゴラスシリーズ「小学生ピタゴラス」(1・2年生、3・4年生、高学年)計3種	各¥3,480	
	同 「ピタゴラスWORLD ゆめみるキャッスルハウス」	¥5,800	
	同 「ピタゴラスWORLD アスレチックパーク」	¥6,600	
	同 「ピタゴラスBASIC これな〜んだ」(リニューアル)	¥4,600	
	指先の知育「5種の知脳ボタンで脳が育つ!知脳リモコン」	¥1,700	
	指先の知育「探求心刺激ドア」	¥1,380	
	「スマート知育ジム&ウォーカー」	¥5,800	
	「いたずら1歳やりたい放題ビッグ版 リアル+(プラス)」	¥5,300	
	「やりたい放題セレクト」(リニューアル)	¥3,480	
	「お水の知育(エンドレス循環式)」(リニューアル)	¥3,780	
	ノンキャラ良品シリーズ「なめられ太郎4代目」	¥550	
	同 「刺激たっぷりなめもみ花子」	¥550	
	同 「頭が育つボトルラトル」	¥680	
	同 「新素材ビニール ぐずピタバック」	¥680	
	同 「筋トレバーガー」	¥680	
	「うちの赤ちゃん世界一 全身を刺激セルフメリー」	¥1,980	
	「PIKAO」	¥3,500	
	「JOIZ ベーシック」	¥5,000	
	「JOIZ ファースト」	¥3,000	
	「くにキャラアドベンチャー」	¥3,280	
	純国産お米のおもちゃシリーズ「お米のどうぶつつき」	¥9,800	
	純国産お米のおもちゃシリーズ「お米のおもちゃ -こだわり4点セット-	¥5,000	
純国産お米のおもちゃシリーズ「お米のボール いろどり」	¥1,600		
女兒玩具	ぽぽちゃんシリーズお人形「あたしのかわいい妹ぽぽちゃん リンクコーデアクセつき」	¥4,580	
	同 「あたしがママよ 赤ちゃんぽぽちゃん」	¥5,000	
	同 「お風呂もいっしょ♡ぽぽちゃん」	¥2,980	
	同 「かわいくしてあげるねロングヘアぽぽちゃん ミニヘアコーム&ヘッドコームつき」	¥4,780	
	「ぽぽちゃんデビューパーフェクトセット」	¥10,000	
	着せ替え「おやすみバジャマセット 一緒にねんねのブランケットつき」	¥1,580	
	着せ替え「ぽぽちゃんのお姉さんパンツ2枚セット」	¥780	
	着せ替え「ゆめかわワンピ リンクコーデアクセつき」	¥1,480	
	着せ替え「くまちゃんレインボンチョ おさんぽ長靴つき」	¥1,380	
	「ぽぽちゃんのランドリールーム」	¥3,480	
	「ぽぽちゃんのおしゃべり弁当」(リニューアル)	¥1,980	
	「ぽぽちゃんのごくごくペットボトル ぶどう」	¥780	
	「ファーストぽぽちゃんボックス」(お世話お道具8点つき)	¥3,800	
	「ぽぽちゃんの超ロングヘアウィッグ」	¥1,280	
	「ぽぽちゃんのおしゃべり歯ブラシ」	¥1,480	
	「ねじハピ エンジニアスタイル」	¥3,980	
	「ねじハピ ペイントスタイル」	¥3,680	
	「サンリオキャラクターズ くるっとロールンファクトリー」	¥4,980	
	遊具・乗り物	「いきなり自転車 16インチ」(ブルーグレイ・パステルピンク)計2色	オープン価格
		「共伸びサイクル 16インチ」(ディープブルー・クランベリー)計2色	オープン価格
「いち・ろく自転車 22インチ」(シーブルーメタリック、コーラル)計2色		オープン価格	
「頭と体の知育ボールサーカス」		¥8,400	
その他	「1歳には知育クレヨン」	¥1,680	
(育児・家具他)	「Bebe Pocket Plus」(チャコールグレー、ネイビーブルー)計2色	各¥4,000	
	「テディハグ ママスイング+」	オープン価格	

②当期の財政状態の概況

（資産負債及び純資産の概況）

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度から11百万円減の24億41百万円となりました。流動資産は21億49百万円で、その主な内訳は現金及び預金13億95百万円、受取手形及び売掛金3億36百万円、商品・原材料の棚卸資産4億10百万円等です。固定資産は2億92百万円で、主な内訳は金型等の有形固定資産69百万円、次期改修予定の社内利用システム投資に伴うソフトウェア仮勘定等の無形固定資産20百万円、関係会社株式・保険積立金等の投資その他の資産、2億03百万円です。

負債の部では、流動負債は3億95百万円で、主な内訳は支払手形及び次期販売用の商品仕入に伴う買掛金が1億87百万円、未払法人税等79百万円です。純資産合計は20億46百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における1株当たり純資産は467円78銭、自己資本比率は83.8%となりました。

（ご参考：過去5年の資産負債の推移）

	2016年1月期	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	2020年1月期
総資産 (千円)	2,728,204	2,764,031	2,437,162	2,451,402	2,440,762
純資産 (千円)	2,106,163	2,123,305	2,064,449	2,077,828	2,046,186
自己資本比率	77.2%	76.8%	84.7%	84.8%	83.8%

注) 1. 2018年1月期より連結財務諸表を作成しているため、2017年1月期以前の数値は個別業績を示しております。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当連結会計期間の期首から適用しており、2019年1月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

（たな卸資産の状況）

	2016年1月期	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	2020年1月期
評価減金額 (千円)	22,072	23,165	27,358	37,796	19,274
売上比率	0.5%	0.5%	0.6%	0.9%	0.5%

注) 2018年1月期より連結財務諸表を作成しているため、2017年1月期以前の数値は個別業績を示しております。

一般的棚卸資産管理では売上が下がると在庫増となります。当社は売上が下がると即減産する体制となっており、向こう3ヶ月の需要予測を毎月精密に行い過剰在庫とならない調整を行っております。しかし、毎期末では当期販売力が伴わなかった新製品等も含め商品力の衰えそうなものを有税で償却し、健全な在庫に評価しなおし翌期に負の資産を残さないようにしております。当期では19,274千円の評価減額を計上しましたが、売上対比では0.5%と例年並みに留まりました。

（設備投資の状況）

当期の設備投資金額は、1億59百万円で、その内訳は次の通りとなっております。

金型・製版 1億33百万円 工具器具備品 6百万円 ソフトウェア20百万円
 設備の除却は、金型・製版および工具器具備品について64百万円（取得価額）行っております。

③当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、期首より1億55百万円減少の13億95百万円となりました。主な要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フローについて）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上の他、売掛債権の減少、次期発売に備えたたな卸資産の増加等により、2億27百万円の収入となりました。（前期は3億65百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フローについて）

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産および次期実行予定の社内基幹システム改変に伴うソフトウェア等の無形固定資産の取得等により、1億10百万円の支出となりました。（前期は56百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フローについて）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により2億71百万円の支出となりました。（前期は2億84百万円の支出）

④ 今後の見通し

（次期2021年1月期 第1四半期連結会計期間の業績見通し）

次四半期の第44期第1四半期連結会計期間（2020年1月21日～2020年4月20日）につきましては、自転車類において前期末からの好調な動きが2月度も続いている一方、玩具においては、市場全体の低迷が依然として続いており、年明け、わずかに上向き様子が出てきた「お人形シリーズ」の売上も、先行きは不透明であります。

新型コロナウイルスによる当社への影響につきましては、当社では玩具の一部、および自転車類について中国の委託工場において製造していることから、当該工場の稼働状況の影響を受けます。現時点では既存品の多くについては日本国内倉庫に在庫が存在し、3月に新発売を予定している商品につきましても、予定通り1月度内に日本に到着していることから、予定通りのスケジュールにて発売可能な状況です。また、中国における旧正月があけて以降も閉鎖が続いていた委託工場も、現在は順次稼働を再開しつつあります。しかしながら、今後、委託工場の製造体制が十分に回復するのか、4月に予定している新商品の調達が可能か、消費マインドがどのように推移するのか、等の影響については、不明確であると言わざるを得ません。

従いまして、第1四半期の売上見通しにつきましては、後半の3～4月度ではこのような要因を加味し、下限値を探り公表せざるを得ないと考え、次期第1四半期連結会計期間の売上高は、7億77百万円の前年同期間並みの見通しとさせていただきます。今後、予想に大幅な変動が見えたら、改めてお知らせして参ります。

⑤ 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当について

（利益配分に関する基本方針）

既製品の持続性が弱く、かつ、新製品の成否が予測し難い業種であり、それゆえに「持続性」を最重視した経営に徹しています。しかし、消費者ニーズが流動的なのは避けがたく、株式上場以来、当期の業績を基準とした配当政策を方針としております。

配当額の具体案は配当可能な剰余金の0から100%までの範囲で次の要素を勘案の上、決定しています。

- 1) 剰余金の額
- 2) 為替、有価証券の評価損益
- 3) 適切な信用力を維持できる財務内容の確保
- 4) 資金需要の状況
- 5) より高い株主利益の達成が可能な投資案件の有無
- 6) 自己株式の買入れの有無とその額

（当期2020年1期の期末配当について）

上記方針を踏まえて、当期期末配当額は2020年1月14日付「2020年1月期の期末配当予想について」にて、1株当たり32.60円～38.00円を実施予定であることをお知らせしております。実施額の最終決定につきましては、2020年3月11日開催予定の当社決算取締役会議における決議に基づき、改めて決議後ご報告させていただきます。

（次期の配当について）

当社新体制による経営改革に伴い、利益配分方針につきましても、より企業価値を高めるための新方針を定めることを目標としておりますが、当面の間は、上記方針を継続してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針です。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月20日)	当連結会計年度 (2020年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,551,059	1,395,475
受取手形及び売掛金	360,899	336,478
商品	283,231	408,162
原材料	645	1,669
前渡金	41,331	145
前払費用	5,629	6,241
未収消費税等	3,168	-
その他	1,949	1,048
貸倒引当金	△684	△635
流動資産合計	2,247,227	2,148,583
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,290	2,290
減価償却累計額	△1,731	△1,871
建物(純額)	559	419
車両運搬具	2,272	2,272
減価償却累計額	△2,272	△2,272
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	739,582	747,059
減価償却累計額	△708,682	△711,785
工具、器具及び備品(純額)	30,900	35,274
建設仮勘定	13,654	32,814
有形固定資産合計	45,113	68,507
無形固定資産		
電話加入権	698	698
ソフトウェア	285	887
ソフトウェア仮勘定	-	18,732
無形固定資産合計	983	20,317
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
関係会社株式	74,646	100,948
繰延税金資産	4,981	23,859
敷金及び保証金	25,809	25,906
保険積立金	52,615	52,615
投資その他の資産合計	158,079	203,356
固定資産合計	204,174	292,180
資産合計	2,451,402	2,440,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月20日)	当連結会計年度 (2020年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,847	186,579
未払金	19,301	18,709
未払費用	58,371	81,305
未払法人税等	120,502	79,221
未払消費税等	-	4,926
前受金	25,081	19,200
その他	4,471	4,637
流動負債合計	373,574	394,576
負債合計	373,574	394,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,664,271	1,615,452
自己株式	△34,233	△34,267
株主資本合計	2,031,543	1,982,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,553	62,801
為替換算調整勘定	1,732	695
その他の包括利益累計額合計	46,285	63,496
純資産合計	2,077,828	2,046,186
負債純資産合計	2,451,402	2,440,762

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月21日 至 2019年1月20日)	当連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)
売上高	4,146,065	3,747,531
売上原価	2,567,191	2,295,471
売上総利益	1,578,873	1,452,060
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	197,134	185,645
販売促進費	121,182	110,554
運賃	148,293	166,244
役員報酬	74,551	61,300
給料及び手当	159,714	162,619
従業員賞与	317	10,681
法定福利費	28,678	30,631
福利厚生費	10,014	12,707
退職給付費用	4,937	13,590
減価償却費	2,968	3,441
賃借料	26,913	25,784
支払手数料	90,699	96,630
研究開発費	170,469	180,141
その他	109,942	99,324
販売費及び一般管理費合計	1,145,812	1,159,289
営業利益	433,062	292,771
営業外収益		
受取利息	98	83
受取配当金	2,012	2,293
その他	121	148
営業外収益合計	2,232	2,524
営業外費用		
為替差損	13,537	8,886
その他	-	0
営業外費用合計	13,537	8,886
経常利益	421,757	286,409
税金等調整前当期純利益	421,757	286,409
法人税、住民税及び事業税	138,709	90,957
法人税等調整額	△2,198	△26,932
法人税等合計	136,511	64,025
当期純利益	285,246	222,384
親会社株主に帰属する当期純利益	285,246	222,384

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月21日 至 2019年1月20日)	当連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)
当期純利益	285,246	222,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,689	18,248
為替換算調整勘定	771	△1,037
その他の包括利益合計	12,461	17,211
包括利益	297,706	239,595
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	297,706	239,595

(3) 連結株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年1月21日 至 2019年120日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	238,800	162,705	1,663,352	△34,231	2,030,625
当期変動額					
剰余金の配当			△284,326		△284,326
親会社株主に帰属する 当期純利益			285,246		285,246
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	920	△1	918
当期末残高	238,800	162,705	1,664,271	△34,233	2,031,543

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	32,863	961	33,824	2,064,449
当期変動額				
剰余金の配当				△284,326
親会社株主に帰属する 当期純利益				285,246
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	11,689	771	12,461	12,461
当期変動額合計	11,689	771	12,461	13,379
当期末残高	44,553	1,732	46,285	2,077,828

当事業年度 (自 2019年1月21日 至2020年1月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	238,800	162,705	1,664,271	△34,233	2,031,543
当期変動額					
剰余金の配当			△271,203		△271,203
親会社株主に帰属する 当期純利益			222,384		222,384
自己株式の取得				△34	△34
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△48,820	△34	△48,854
当期末残高	238,800	162,705	1,615,452	△34,267	1,982,690

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	44,553	1,732	46,285	2,077,828
当期変動額				
剰余金の配当				△271,203
親会社株主に帰属する 当期純利益				222,384
自己株式の取得				△34
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	18,248	△1,037	17,212	17,212
当期変動額合計	18,248	△1,037	17,212	△31,642
当期末残高	62,801	695	63,496	2,046,186

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月21日 至 2019年1月20日)	当連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	421,757	286,409
減価償却費	54,162	67,699
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△173	△49
受取利息及び受取配当金	△2,111	△265
為替差損益 (△は益)	15	△15
売上債権の増減額 (△は増加)	64,148	24,421
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,101	△125,954
前渡金の増減額 (△は増加)	△41,331	41,186
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△3,168	3,168
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,654	4,926
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,790	40,732
前受金の増減額 (△は減少)	△23,835	-
その他	△3,137	15,587
小計	495,564	357,845
利息及び配当金の受取額	2,111	265
法人税等の支払額	△132,886	△131,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,790	226,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,590	△93,629
有形固定資産の売却による収入	-	△16,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,590	△109,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△34
配当金の支払額	△283,732	△271,658
その他	△468	320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,201	△271,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	756	△1,022
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,755	△155,264
現金及び現金同等物の期首残高	1,524,600	1,550,355
現金及び現金同等物の期末残高	1,550,355	1,395,090

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自2018年1月21日 至2019年1月20日)	当連結会計年度 (自2019年1月21日 至2020年1月20日)
1株当たり純資産額	475.01円	467.78円
1株当たり当期純利益	65.21円	50.84円

(注)1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自2018年1月21日 至2019年1月20日)	当連結会計年度 (自2019年1月21日 至2020年1月20日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	285,246	222,384
普通株主に帰属しない金額（千円）		-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	285,246	222,384
普通株式の期中平均株式数（株）	4,374	4,374
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。